



令和2年2月13日

豊浦町議会  
議長 工藤 敏和 様

豊浦町議会  
議員 大高 一敏

### 政務活動報告書

《とき》 令和2年2月5日（水）～2月8日（土）

《ところ》 ・福島県  
・東京都

《目的》 下記内容と資料添付

《行程表》

2/5（水）08：44 洞爺駅発 → 17：02 湯本駅着 →  
（無料送迎バス）ハワイアンリゾート

【視察】

- 福島県ハワイアンリゾートの災害状況と復興の状況

【宿泊先】

- ホテルハワイアンズ

2/6（木）06：00 ホテル発（タクシー） → 湯本駅発（在来線）  
→ 10：57 東館駅着（徒歩）  
→ 13：30～矢祭町議会との懇談会

【懇談会内容】

- 矢祭町対応職員

議長、副町長、議会事務局長、総務課職員

- ① 議員報酬の日当制の取り組みと現状等について
- ② 行財政等の取り組みと現状等について
- ③ 町政及び議会の現状等について
- ④ その他

**【宿泊先】**

- ユーパル矢祭

2/7 (金) 08:30 ホテル発 (タクシー) → 新白川駅着  
→ 東京駅着→11:40 永田町駅 (徒歩)  
→ 全国町村会館 → 13:30～講演

**【講演内容】**

- 地域の医療を守るために～地方議会議員への期待～

①時 間 13時30分～16時30分

②参加費 無料

③会 場 全国町村会館2階ホール

④講 師 城西大学経営学部 マネジメント総合学科  
教授 伊関 友伸

**【宿泊先】**

- 全国町村会館

2/8 (土) 12:20 東京駅発 (新幹線やまびこ) → 新函館北斗着  
新函館北斗発 → 18:34 洞爺駅着

以上

## 2011年（平成23年3月11日）東日本大震災主な被害状況報告書

1. 福島県いわき市（3.11から1年後 死者310人、不明37人）
2.     "   いわき市湯本町
3.     "   いわき市常磐藤原町

### ◎被害状況と取り組み等の懇談内容について（2月5日）

対応者 鈴木知行 様 （17時45分～18時30分まで）

#### ○いわき市湯本町（3月11日三陸沖を震源とするM9.0）の地震発生時について

- ・湯本町内は津波による被害なしだが、地震による水道管断裂で道路冠水、車両及び町民は通行出来ず、2週間程度最悪の状況であった。
- ・住宅等屋根の崩壊で生活等出来ず難儀の状況であった。
- ・海岸沿いの住民は車両等で北へ南へ着の身着のままバラバラに脱出（海岸より10km以上）
- ・原発放射線物質で被爆の危険があり住宅等の後片付け等は一ヶ月以上遅れで行った。
- ・福島市原発周辺の方々はいわき市へ、5割程度罹災証明のある方・工事関係者を含め20,000人の避難者を受け入れた。
- ・避難者は東電・国より復興補償費の支援を受け、一部の方は原発バブルと声もあった。

#### ○いわき市常磐藤原町について（ホテル ハワイアンズ）

- ・地震発生により電気系統等全て誤作動で、停電等とスプリンクラー稼働で施設は機能しない最悪の状況であった。
- ・一ヶ月以上震度6強が続き何も出来ず難儀の状況であった。
- ・発生時は多数のお客様で安全な場所の大ホールへ移動させて対応した。
- ・車両等で関東圏へ戻る方には状況を見ながら安全に通行出来る県道または国道を指示した。
- ・イベント施設の天井板の崩壊と外壁の損傷で施設及び建物等回復まで約一年強の歳月を要したとのこと。
- ・原発周辺避難民の方々を受け入れし、利用できる部屋及び浴場を無料開放し利用して頂いた。

- ・その間社員等は系列のゴルフ場・軽井沢プリンスホテル・九州ハウステンボスへ研修も含め派遣を実施し経営継続に向けた。
  - ・被害を受けた一年後に復興し営業開始を行い、現在は全国にPRを行い繁栄し、本年より新たなリゾートホテルを増設している旨の説明があった。
- ※この度の視察と懇談で災害時対応に向け説明等を賜り、安全・安心に向けたスピーディな判断を再認識出来ました。

## 独立独歩を進める町

### 福島県東白川郡矢祭町懇談会報告書

13時40分～16時30分まで

とき・ところ 懇談状況と詳細は別紙資料添付通り

#### ◎議会報酬の日当制の取り組みと現状等について

- 矢祭町議会は平成13年10月に全国に先駆け合併をしない矢祭町宣言を行って19年目になる
  - 議員定数18名→10名に改革 平成16年3月改選により10名
  - 議員報酬は月額から日額に改革 平成20年3月31日より日額30,000円に改革し10年を経過した
  - 特別職報酬見直し 平成15年6月より三役を同額とした
    - ・町長報酬月額 523,000円
    - ・副町長 〃 523,000円
    - ・教育長 〃 523,000円
- ※町長・議長の交際費なし

#### ◎その他

- 役場の窓口業務は一年中行い利便を図っています
- 役場消防隊を結成し、昼間の有事の際に出動し活動を行い、又は毎月各課交代で積載車を走らせ見回りの実施等々説明を受けた

※日当制については各地より視察に来ているが実施した市町村無しとのことである。「入るを量りて出づるを制す」のモットーを基本にし、行財政の見直し等先駆的取り組みをしている町のリーダーの姿勢と先を見た経営感覚に感銘を受けた視察で有り、今後の町作りに向け、時に合わせ前向きに一歩一歩行財政と議会改革等に取り組みます。

以上

## 地域の医療を守るためのセミナー報告書

### (地方議会議員への期待)

とき・ところ・セミナー状況と詳細は別紙資料添付通り

- 講演
- ・自治体病院の存在意義はどこにあるか
  - ・地域医療構想再検証要請 424 病院について考える
  - ・どのようにして自治体病院の経営を良くするか

#### ◎テーマからの思い

- ・役人は時代の大変化に対応出来ないので、専門性の高い事務職員等人材の導入が必要
- ・不採算病院経営を良くするために加算点の取れる有資格者増員を行う
- ・人口減少・本格的少子高齢化社会への情報と運営のために、役割の再認識を行い実施する
- ・病院や福祉施設を地域の産業として考えるべきである
- ・医療機関がなくなれば地域の住民は生活出来なくなるので、削減だけでなく更なるスタッフを充実させ、知恵と工夫したお金を使って存続させることが重要である
- ・正念場の自治体の病院経営は、国の医療システム改革が進む中で生き残るための取り組みが求められている時代となった
- ・医師及び看護師不足は地方で進むため地域人材の能力を高めるかが重要である

#### ◎講演より国保病院の改善等についての思い

- ・医師及び看護師等は役割を再認識し患者へ不安を与えないよう、喜ばれる運営と期待に答えると思われる医療サービスの向上を目指し、また専門性の高い事務職員を雇用し、不採算病院運営のため加算点を多く取得出来る研修会等へ参加することとし、場合によっては診療所に変更し空き部屋の活用を検証しながら前向きに病院経営に日々精進すべきである



令和2年1月4日

豊浦町議会議長 工藤 敏和 様

議員氏名 大高 一敏

## 調査研究及び研修計画書

下記のとおり計画しましたので届け出します。

### 記

- 1 日程  
令和2年1月5日～8日
- 2 該当する政務活動費の活動項目  
調査研究費
- 3 活動先  
2月5日 福島県ハワイアンリゾート  
2月6日 矢祭町  
2月7日 全国町村会館
- 4 目的  
2月5日 福島県ハワイアンリゾートの災害状況と復興の状況  
2月6日 矢祭町議会との懇談会  
議員報酬について、行財政の取り組み、町政及び議会の現状  
2月7日 講演 「地域の医療を守るために～地方議会議員への期待～」
- 5 参加議員名  
渡辺 訓雄 副議長
- 6 概算経費  
100,000円くらい
- 7 参考添付資料等  
令和元年度豊浦町議会・監査要覧  
議会広報 5月、8月、11月  
町広報 10月、11月、12月、1月